

自治体議員選挙における党派別議席占有率

林和孝（早稲田大学非常勤講師）

今年度のデータ・ブックは新しく各自治体の統一地方選挙における党派別の当選者数を掲載することにした。そこで、2015年統一地方選挙の結果から自治体ごとの党派別議席占有率をまとめてみた。

図1と図2は、2015年統一地方選挙における党派別の議席占有率をあらわしている。図は左から自由民主党、公明党、無所属、維新の党、民主党などという順に並べている。この配列は国政における

与党と野党の関係を意識したもののだが、自治体政治には国政とは異なる論理が働くことから、あくまでも便宜的なものである。

ここには統一地方選挙以外の期日に執行された自治体の直近の議員選挙の結果も加えた。区部では足立区、葛飾区、市部では立川市、町田市、小金井市、日野市、あきる野市、西東京市などの自治体である。図中、「維新」は維新の党だが、統一選挙以外の自治体議会選挙における「みんなの党」「結いの党」の当選者を含めた。「ネット」は生活者ネットワーク、「社民」は社会民主党、「共産」は日本共産党である。なお、平均は単純平均である。

区部では千代田区ほか数自治体で、自民党と公明党の合計当選者数が過半数に達していない。

図1 2015年区議会議員選挙議席占有率

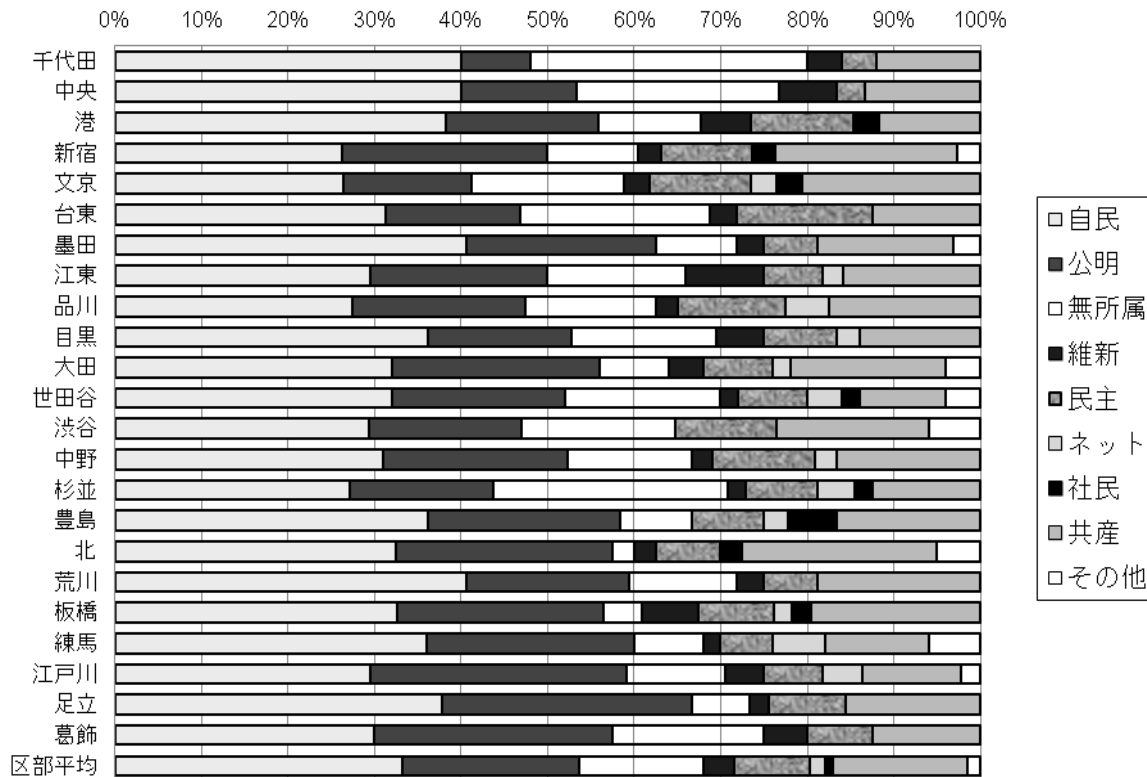
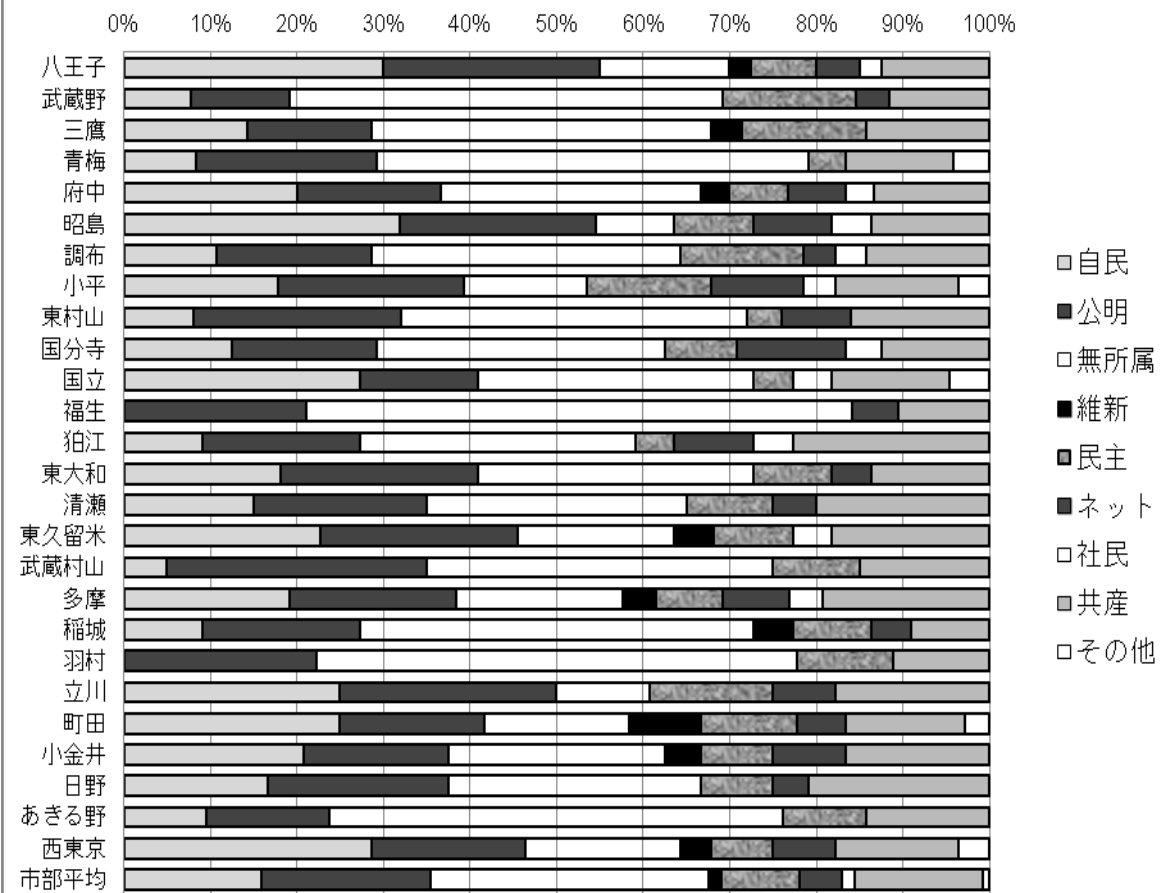


図2 2015年市議会議員選挙議席占有率

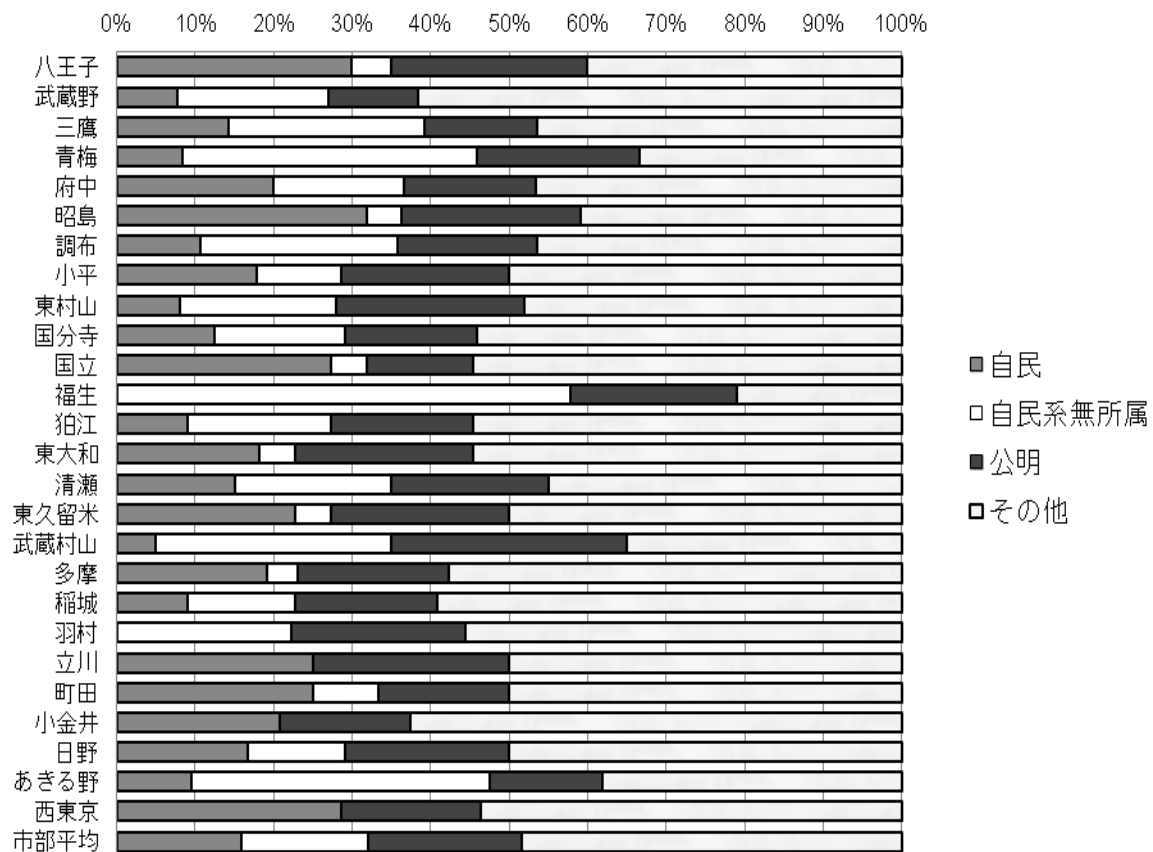


一方、多摩市部ではほとんどの自治体で、自民党と公明党の合計当選者数が過半数に達していない。多摩地域では自民党公認ではなく無所属を選択する保守系候補者が多いことが、その一因である。多摩では伝統的な草の根の保守層が現存しているわけである。

そこで、無所属のうち、自民党系の当選者を推定して自民党系議席数を推計する必要がでてくる。ここでは各自治体議会の会派のうち、自民党もしくはこれに類した名称をもつもの、会派の主張が明らかに自民党的であるものの所属議員数から自民党当選者を除いた議員を、自民党系無所属当選者とした。

図3は、自民党・自民党系無所属（推計）・公明党の議席占有率をあらわしたものである。自民党系無所属を加えても、これらの合計が定数の過半数に達していない自治体が多い。

図3 2015年市議会議員選挙議席占有率



注 選挙期日

足立区	2015年 5月 17日
葛飾区	2013年 11月 10日
立川市	2014年 6月 22日
町田市	2014年 2月 23日
小金井市	2013年 3月 24日
日野市	2014年 2月 16日
あきる野市	2013年 6月 23日
西東京市	2014年 12月 21日
統一選挙	2015年 4月 26日

ここまで 2015 年統一地方選挙と統一選挙外自治体議員選挙の直近の結果から党派別の議席占有率を図示してきたが、以下では 2011 年と 2015 年の統一地方選挙における当選者数および議席占有率を比較する。

2011 年と 2015 年を比較すると、区部では自民党、共産党、無所属の当選者が増加した。維新の党はみんなの党と比べると激減した。民主党も大きく後退した。公明党、生活者ネット、社民党は微減だった。無所属の増加は、民主党、維新の党の減少と連動しているようである。多摩市部では、自民党と共産党が増加した。民主党、維新の党は区部ほどではないが、減少した。その他、無所属も含めて微減傾向を示している。市部の自民党の増加がめざましいが、これ

は党勢の増大だけでなく、自民党系無所属から自民党公認への候補者の移動が反映していると考えられる。多摩地域では自民党の組織化がすすんだといえようか。

図 4 および図 5 は、議席占有率については、自民党と公明党の合計を比較したものである。全体として、2011 年よりも 2015 年の自民・公明の議席占有率が増加しているが、区部ではあまり大きな変動はみられない。多摩市部では全体として、自公の議席占有率が増加したことが分かる。

(出所) 東京都選挙管理委員会『平成 23 年 4 月執行 地方選挙の記録』、新聞各紙、各政党および各自治体ホームページなどによる。

表 統一地方選挙における党派別当選者数

		自民	公明	民主	共産	維新/みんな	ネット	社民	その他	無所属	定数
区部	2011 年	259	169	87	121	51	19	10	17	88	821
	2015 年	267	166	71	128	29	18	9	14	115	817
	増減	8	-3	-16	7	-22	-1	-1	-3	27	-4
市部	2011 年	54	98	50	68	18	26	11	4	160	489
	2015 年	74	97	43	70	6	24	10	3	161	488
	増減	20	-1	-7	2	-12	-2	-1	-1	1	-1

(注) 「維新/みんな」は、2011 年が「みんなの党」、2015 年が維新の党の当選者数。

図4 統一地方選挙議席占有率（自民+公明）

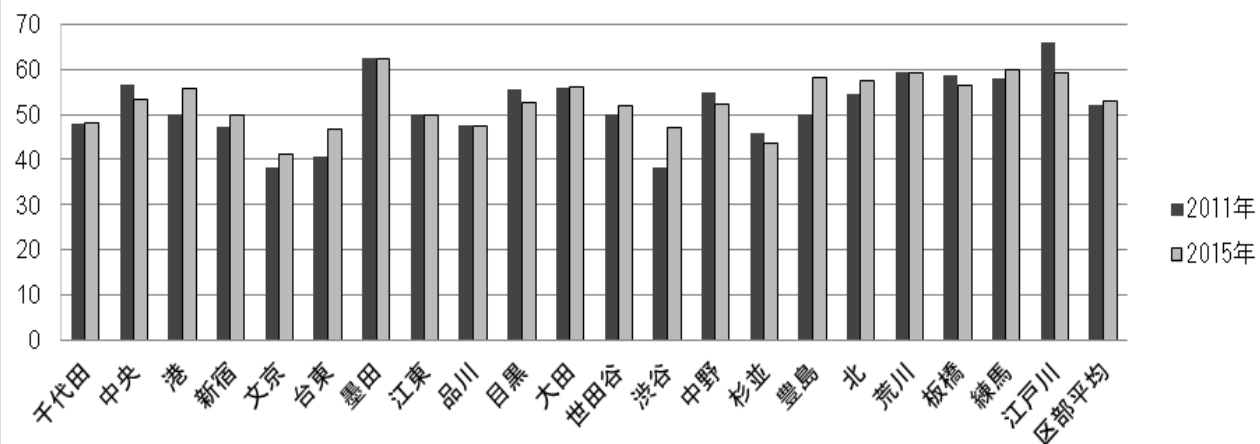


図5 統一地方選挙議席占有率（自民+公明）

